

全国で初めて日本・上流文化圏構想を提唱。「小さな町の大きな挑戦」を全国に向けて発信

し続ける「山梨県早川町」の舵取り役

都会の姿をまねるんじゃない 「自分たち」らしい生き方を

くて、 探すべきじゃないか

根っこは一つ。南アルプスの恵みを受ける早川町と川根本町。

今から遡ること15年前、日本・上流文化圏構想というのを立ち上げました。過疎と高齢化が進む山に囲まれた町で、どのように町を組み立てていけば、この日本で生き抜いていけるか。地域ぐるみで、そしてよその力も借りながら策定した構想なんです。今、第2期構想がスタートしたところです。

早川町は、すごい山の中ですよ。早川の源流は、南アルプスです。

早川町も過疎に悩む町なんです。50年前、早川流域には8000人の人がいましたよ。そして50年経った今、何人になったと思いますか。1500人なんです。町長の私が自慢げに言うことではないんですが、1500人なんです。ただ、過疎はうちの町だけじゃない。日本全国で同じような地域がたくさんある。どこも同じ問題を抱えているんです。そういった悩みを持つ仲間同士が広く連携しながらつながっていくことが、これからの国づくり、地域づくりに必要だと私は思うんです。

町民全員が、楽しく、誇りを持って生きるまちにしたい。

寸又峡には宝がたくさんありますよ。うちの町にもたくさんあります。でも、なぜ人が来ないのか。いなくなるのか。この地域の価値・魅力、それを地域の人がどのように大事にしなが創っていくかということが大切なんです。

人口1500人だっただけ。うちは合併してませんよ。「市町村合併をしたから人口が増えた」というのもそれはまやか。本当に増えたわけ

北岳、間ノ岳、その隣に白根三山などが並んでいます。そして静岡県側には赤石連峰が連なり、山梨県側には甲府盆地を境とした南アルプスの前衛の山々が連なっている。山頂に降った雨は、山梨県へは早川へ、静岡県へは川根本町に流れてくる。そう、大井川なんです。

上流圏に生きる地域同士と一緒に生きてまちづくりを考える。うちの町は1994年に構想を立ち上げて、川根本町（旧本川根町）でも同じように生き抜く方法を探していた。都市を見るんじゃないで、自分た

ではないんです。

早川は、日本で一番人口が少ない「町」ですが、例えば1500人の住民が「早川に暮らして、そして死んでいくことを私たちは誇りに思っている」と言ったら、それは悪い町ですか。たった1500人で、生産性も低いダメな町ですか。この町を愛して骨を埋めよう。子どもたちからお年寄りまで、みんなが楽しく誇りを持って、ここで生きていこうと思えるんなら、たとえ1500人でも、それは良い町なんじゃないでしょうか。私は、もっともっと情報発信して「地方を大事にしないとこの国はダメになるよ」と国にアピールしていきますよ。

この地域に合った「心」を創りあげていくのが地域づくり。

今、川根本町は苦しいときにあると思う。私の町も苦しいから分かる。そういう同じ境遇の人たちが近所にいると思えば、勇気を持って自信を持って地域を考えていける。

今では、全国で有名な観光地・温泉地ですらお客の減少に苦しんでいます。昔の記憶・記録を取りだして、良かったときを取り戻そうとしてあせている。寸又峡も、もしかした

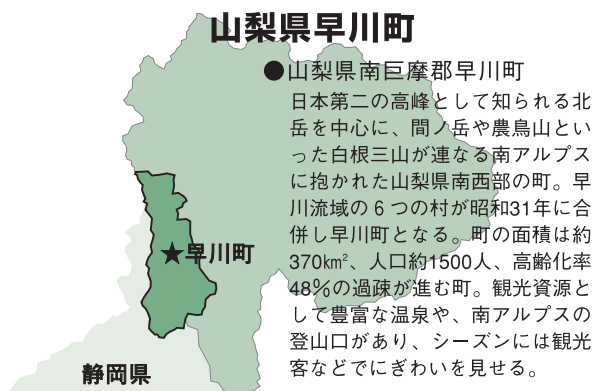
山梨県早川町 辻 一幸 町長

山梨県南西部に位置する日本一人口が少ない山あいの町「早川町」。平成4年、「日本・上流文化圏構想」を提唱。河川上流域の活性化策の先駆けとして全国から注目を浴びる。早川の発展を思い、7期28年にわたって早川町の舵取り役を務める辻町長に、川根本町の特徴でもある「観光・温泉」などをキーワードに、まちづくり・地域づくりを熱く語っていただいた。

ちの生き方があるんじゃないか。下流を見て生きるよりも、もっとも自分らしい暮らしを求めていくべきじゃないか。共感してくれたんです。川根本町が。私たちは、根っこは一つなんです。ここに住んでいる我々は、みんなが心を一つにして生きていくということ。こういうつながりがあるということを見て、聞いて、知る。そしてお互いに興味を持つ。これは素晴らしいことなんです。探せば何かつながりがある、仲間として結ばれる。今後につないでいかなければならないことな

らそうではないですか。そんな良い時代はもう来ないですよ。発想の転換をして、ゼロから組み立てることが必要なんです。観光のための地域づくりではなくて、町を訪れた人に何を見せるのか、何を与えることができるのかを考えるんです。

皆さんの知恵を出し合ってください。皆さんの知恵を出し合ってください。大きな観光地を求めてはダメですよ。「この地域だからこそ」のものを探さなければならぬんです。観光とは地域づくりとは「心」ですよ。この地域に合った心を創りあげていくんです。お金をかけるとは言わない。町のあらゆる知恵を結集して、この地域ならではの心を創り、訪れた人に与えてあげるのが観光であり、生き残るための地域づくりだと思います。



山梨県早川町

●山梨県南巨摩郡早川町
日本第二の高峰として知られる北岳を中心に、間ノ岳や農鳥山といった白根三山が連なる南アルプスに抱かれた山梨県南西部の町。早川流域の6つの村が昭和31年に合併し早川町となる。町の面積は約370km²、人口約1500人、高齢化率48%の過疎が進む町。観光資源として豊富な温泉や、南アルプスの登山口があり、シーズンには観光客などでにぎわいを見せる。